



本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報をお知らせする目的で配信しております。

メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

コーディネータコラム

イノベーション創出強化本部 副本部長
URA・社会連携センター コーディネータ
内藤 久俊

新技術情報クラブの皆様

コーディネータの内藤久俊です、いつもお世話になっております。

寒さも緩み始め、ようやく春の気配を感じられる今日この頃ですが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。大学のキャンパスも 2 月に入り、コロナ感染もやや下火になり、以前の賑わいが戻りつつあります。

ところで皆様、「味の素スタジアム」の元の名前をご存じでしょうか。お若い方々をご存じない方もいるかもしれませんが、「東京スタジアム」と言います。

実は日本で最初にネーミングライツを導入したのは、東京都と京王電鉄等が出資する株式会社東京スタジアムとのことです。

多くのスポーツ施設が、運営資金調達の有効な手段として今も注目されています。

山梨県でも「県民文化ホール」が「YCC 県民文化ホール」に、また「小瀬スポーツ公園陸上競技場」は「Jit リサイクルインクスタジアム」と命名され、活用されています。

そこで皆様にお伝えしたいのは、何と山梨大学にもネーミングライツが導入されているのをご存じでしょうか。令和 4 年 1 月に公募で選ばれました空調や熱源に関わる機器を製造・販売している「東芝キャリア株式会社」様が甲府キャンパス内の T1 号館 1 階 T1-11 講義室の命名権を取得しました。これにより同講義室は、「TC Room T1-11 ティーシー ルーム T1-11）」と命名されています。また今年令和 5 年 1 月に、半導体製造装置を開発・製造する「ファスフォードテクノロジー株式会社」様（南アルプス市）が同じく甲府キャンパス内の講義室の命名権を取得し、新たに「FASFORD Room T1-12（ファスフォード ルーム T1-12）」と命名され、日々学生等が講義を受けています。

本学でも、令和 3 年 10 月に教育研究環境の向上等を目的として、法人等が大学内の施設の命名権を得られる「ネーミングライツ制度」を導入しています。

また、本学は医療機器分野における技術人材の養成の為「医療機器産業技術人材養成講座」を山梨県のご支援の下開設しており、この度、当講座の試作品を基に手術時の創洗浄(創傷部の洗浄)をサポートする医療機器「創洗浄器」がアイドラス(株)様から開発され、実用化されています。

また、数年前には目薬を上手く点眼できない方への点眼補助器具「eye

ラブ」が(株)エスワイ精機様から本学の共同研究を経て点眼を補助する器具が開発され現在も薬局等で販売されています。
これらの製品は、本学医学部の医師や講座参加者のアイデアをベースに人材養成講座の取組みが切っ掛けとなり実装に繋がった成果です。
なお令和4年度の「医療機器産業技術人材養成講座」は先日閉講式が行われ、20名の受講者が無事終了されました。これからの活躍を期待しています。

最後に今年度の新技術情報クラブ及びアカデミックサロンの取り組みに関しまして、活動の一端をお知らせいたします。
新技術情報クラブ第2回交流会は令和5年1月10日(火)コロナ禍の為にWeb開催にて行われました。工学域 機械工学系(機械工学) 野田善之教授のテーマ「機械やロボットを自在に操る人間機械協調システム」のご講演、続いて工学域 基礎教育センター安藤 英俊教授のテーマ「GPU/AI の多分野への活用」等のご講演が行われ、23名のご参加を頂き、質疑応答も活発になされ盛会裏に終了致しました。

また、アカデミックサロンにつきましては、令和5年2月24日(金)にリアル開催とWeb開催のハイブリッドにて開催する予定です。今回は工学域・土木環境工学系(国際流域環境研究センター) 遠山 忠教授のテーマ「植物や微細藻類を利用した低炭素型排水処理と、資源循環利用モノづくり」のご講演を予定しております。
皆様のご参加をお待ちしております。

各種イベントにつきましては、コロナ禍を勘案する中、リアル開催、WEB開催、ハイブリット開催等を検討し、皆様のご意見等頂く中、今後も継続していく方針です。

それでは皆様、よろしくお願い致します。

インフォメーション 目次

- 01: プレスリリース (1件)
- 02: トピックス (1件)
- 03: イベント情報 (1件)
- 04: 事務局からのお知らせ

-
- 01 プレスリリース (1件)

◆鉛を使わなくても優れた強誘電性・圧電性が得られる セラミックス材料の設計指針を提案 ～ビスマスイオンを含むナノドメインの導入～

広島大学大学院先進理工系科学研究科のキム・サンウク助教、黒岩芳弘教授、九州大学大学院工学研究院の大学院生宮内隆輝氏(研究当時)、佐藤幸生准教授、山梨大学大学院総合研究部の研究員ナム・ヒョンウク博士、藤井一郎准教授、上野慎太郎准教授、和田智志教授からなる共同研究グループは、優れた強誘電性と圧電性をもつ非鉛系圧電セラミックス材料の合成に成功しました。スマートフォンや自動車などの電子機器に用いられている圧電素子には、長年にわたり鉛を含む圧電材料が使用されてきました。今回、合成に成功した材料は鉛を含まないために、環境にやさしい圧電材料として期待できます。SPRING-8での放射光X線回折実験(SR-XRD)と高分解能透過型電子顕微鏡観察(TEM)により鉛を含まなくても優れた圧電特性が得られる新しいメカニズムを解明しました。

詳しい内容については、下記 URL よりご覧ください。
<https://www.eng.yamanashi.ac.jp/news/13219/>



■02

トピックス

(1 件)

◆本学学生 2 名が「第 23 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2022)」で優秀講演賞を受賞しました

令和 4 年 12 月 14 日 (水) ~16 日 (金)、幕張メッセ国際会議場で開催された「第 23 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2022)」において、修士課程工学専攻応用化学コースと工学部応用化学科の学生が優秀講演賞を受賞しました。

◇修士課程工学専攻応用化学コース 2 年 山口直人さん

指導教員 : 奥崎秀典 工学部応用化学科教授

受賞テーマ:「エントロピー弾性で駆動する新規エラストマーアクチュエータ」

研究内容 : 熱可塑性エラストマーの低温における優れたエントロピー弾性発現のメカニズムを解明するとともに、ヒートエンジンの作製に成功した。

◇工学部応用化学科 4 年 松下可那子さん

指導教員 : 奥崎秀典 工学部応用化学科教授

受賞テーマ:「熱転写法による PEDOT:PSS 電極の作製とフレキシブルセンサへの応用」

研究内容 : 溶媒を用いずに導電性高分子の電極形成可能な熱転写法を新たに開発し、フレキシブルセンサの大面积化と高性能化に成功した。

詳しくは下記 URL よりご覧下さい。

<https://www.yamanashi.ac.jp/41540>



■03

イベント情報

(1 件)

◆「第 31 回アカデミックサロン」開催のご案内

すでにご案内させていただいております「第 31 回アカデミックサロン」を下記内容にてハイブリッド開催いたします。お申込みはまだ受けておりますので、ぜひご参加ください。

日 時: 令和 5 年 2 月 24 日 (金) 14:30~16:15

形 式: 会場: 山梨大学甲府キャンパス 情報メディア館 5 階
オンライン: Zoom

講 演: 大学院総合研究部 工学域 土木環境工学系 (国際流域環境研究センター) 遠山 忠 教授
「植物や微細藻類を利用した低炭素型排水処理と、資源循環利用モノづくり」

詳しくは、下記 URL よりご覧下さい。

https://a-salon.jp/news_salon_b/1193



■04

事務局からお知らせ

◆技術課題等、ご相談について

技術課題や大学の知恵を借りたいなど、ございませんでしょうか。会員会社様の持っておられる技術課題を伺います。ご希望の会員様がございましたら、事務局までお気軽にご連絡ください

い。



- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

